



会報

DISTRICT 353
CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA



田 植

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや
例会日 毎週火曜日 PM 12:30 - 1:30
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
電話 0235 (2) 5775

会 長 鈴 木 善 作
幹 事 高 橋 辰 美

Renew the Spirit of Rotary

ロータリーの精神を振るい起こせ

第 803 号

1975. 5. 13 (火) (晴)

No.43

◆出席報告

本日の出席

会 員 数	72名
出 席 数	50名
出 席 率	69.44%

前回の出席

前回出席率	77.78%
修正出席数	65名
確定出席率	90.28%

欠 席 者

阿宗君、飯白君、石黒君、五十嵐(三)君
五十嵐(伊)君、海東君、金井君、黒谷君
嶺岸君、三井(健)君、中野(清)君、齋藤
(栄)君、齋藤(得)君、齋藤(信)君、佐藤
(順)、進藤君、佐藤(衛)、菅原(辰)君、
佐藤(宇)君、谷口君、藪田君、清水君

メークアップ

五十嵐(三)君、板垣君、横山君、中野(清)君
佐藤(友)君、菅原(啓)君、高橋(良)君、
内山君一鶴岡西 R C

◆ビジター

本間留芳君一温海 R C

◆点 鐘 会 長

◆ロータリーソング

「それこそロータリー」

◆ビジターゲスト紹介

ゲスト 地主 鉄明氏

◆会長報告

◆幹事報告

(1) 例会変更

イ 場所変更 新庄クラブが
5月16日より新庄ホテルにて
ロ 酒田東クラブ 5月15日例会は
クラブ協議会の為 PM6:00より
御園別館に変更

会報はご家族みんなで読みましょう

- (2) 梁川(仮)クラブ 4月20日設立
福島県伊達郡梁川町字下割田
例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- (3) 会報到着
米沢クラブ 米沢西クラブ
- (4) 委員会報告

◆会長報告

5月10日

海東与蔵君が退院致しました。お目出とうございます。

5月11日

ライオンズクラブ国際協議会302E-H地区第21回年次大会式典に参加致しました。

会場：鶴岡文化会館

登録：9:30~10:30

式典：11:00~13:00

パレード：13:30~14:30

川端通一銀座一荘内銀行前

○ガバナー晩餐会：15:30~17:00

会場庄内青果市場(欠席)

5月12日

Aコース 最上川舟下りと羽黒山探勝

Bコース 羽黒山と鳥海ブルーライン探勝

Cコース 羽黒山、最上川舟下りと

蔵王エコーライン探勝

○親善ゴルフ大会：湯の浜カントリークラブ

ライオンズクラブはライオン様のになかなか活気があり大変盛大な式典でした。

5月12日

温海ロータリークラブの五周年記念例会に招待されました。

当クラブよりは早坂バストガバナー、石黒分区分代理と両夫人、安藤前会長、小松幹事、五十嵐三郎君と私の8名。本間温海町長、大原ガバナー代表、早坂バストガバナー、鶴岡西半田会長、温海ライオンズ会長と私が招待者でした。

本間温海町長、早坂ガバナー、石黒分区分代理の記念講話、記念品の贈呈、世界社会奉仕オークションがあり14:00より祝宴に入りました。なかなか盛會裡に終わりました。

＜職業奉仕発表会＞

去る4月22日(火)時間変更例会で午後5

時40分より約30分間「従業員をいかにして企業に協力させるか——協力させているか」と題する意見、事例の発表会を行ったが、その発言要旨は次の通りである。

(上野職業奉仕委員長)

先日行った「職業奉仕アンケート」によると、非常に多くの会員が、当委員会に対し、テーマをきめた討論会、発表会、座談会等の開催を希んで居られた。そこで本日は先週予告したように「従業員をいかに企業に協力させるか——協力させているか」をテーマに発表会を開催する。限られた時間内で多くの意見や事例を発表して頂いて有意義な会合としたいのでご協力をお願いする。

(小池委員)

性格は真面目だが、仲々能率のあがないハンデーを負っている或る従業員に、モータリ社員のような仕事は期待しないで、その従業員の仕事ぶりをそれなりに認めてやり、「自信を持たせ」て成功した事例。

「車を買ってやることを条件に鶴岡に娘を就職させた」という父親と、やがては退職していった近郷出身の高卒女子社員の事例。

(市川会員)

今の若い人達にとって「長幼の序」とか「勤労の美德」といった価値観は通用せず自ら納得しないと受け入れられないという、物事に対し批判的であり、又自己主張するように育てられています。反面、仕事に対して一旦意欲をもやすと成績の向上にすすんで努力する長所もっています。

従っていかに従業員にやる気を起こさせるかが問題になる訳ですが、いろいろやってみて、各人の仕事ぶりを正当に評価してやる事が大切だとわかってきました。人事対策でも、僅かの差であれ認めてやると更にハッスルする気持ちを起こすので、あらゆる機会にそれぞれの長所をとりあげてやるようにしています。

リクリエーションとか新年会場で具体的に企業への貢献度を評価してやることも効果があるようです。ロータリーの例会に招待するのも意識を高揚し、奉仕の精神の理解に役立つのではないかと思います。

“最もよく奉仕するものは、最もよく報われる”とはロータリーの標語ですが、自

分の職業が、いかに社会に貢献しているかを認識させ、その職場での努力の結果が、このように報われているのだと自覚させ、理解させてゆきたい。

(蔽田会員)

1961年1月亡きケネディ大統領は、その就任式の挨拶で「アメリカ国家が何か自分のためにしてくれるだろうと考えてはいけない。アメリカ国民として自分が国家に何か役立つことが出来るかを考えてほしい」と云った。私はこの言葉を借りて、従業員に「自分が企業に対しどんな貢献が出来るか」考えてほしいといつも希望している。最近、仕事の関係これまで23人だった私のアシスタントが60人に急増したので、彼等との接触の機会がこれまでより少なくなった。そこで毎週1回従業員の不平、不満をきいてやる機会をつくった。その中で特にむずかしい問題が出てきたときは、従業員と2人でお互いその問題を解決するように努めている。

従業員との接触を通じて感じることは、彼等はいつも上司との「心のふれ合い」を求めて居ること、従って従業員の真の協力は「心のふれ合い」がなければ出来ないと。又私は、日頃「金は人の不満を減らすことは出来ても、満足を増やすものではない」ことを、そして仕事が満足を充ててくれるものであることを若い従業員に話している。

(今野会員)

「経営者は私どもを働かせるのか、それとも私どもに働いてもらうのか。」これを逆に自分の側から言えば「おれは働かされるのか、それとも働いてやるのか」ということになるであろうが、どちらも不可である。

同じように「おれは会社から月給やボーナスをもらうとか、会社がくれる(支払う)とか」の考えもまた不可である。これは強いてものを分けて対立させ二者択一的に考える処から来るのであって、そうではなくて真の道はお互いのための相互律にあることを銘記すべきである。

健全で平和で繁栄している企業では経営者と従業員に前記のような利己、利他の考えがない。この根本の過ちを正し、お互いに理解し合うたゆまない研鑽のない企業で

は枝葉の施策は根なし草に等しい。

(三井賢二会員)

品種7,000種に及ぶ商品の在庫管理は大変むずかしいが、又非常に大事な仕事であるが、私はこれを従業員を信頼し、責任をもって把握させている。委かされた従業員は責任と誇りを感じてこの仕事をやっており、リストをつけて管理する以上の好結果を得ている。

(山本正会員)

先ず第一に従業員に会社に対する帰属意識を持たせることだと考える。それには、いろいろな機会を通じて、会社と従業員が運命共同体であること。従って会社の業績があがれば自分達もよくなり、業績が悪くなれば自分達も悪くなるということを知らせることだと思う。ペア、や一時金の団交時などはそのよい機会の一つだと思う。

私の会社では「無欠点運動」という名称でZD計画をここ数年来つづけて行っている。ZDで云われているその背景をなす思想——エサとムチによる管理でなくて高次(精神的)の欲求満足による動機づけ管理——に共鳴しているわけです。

「不良品を〇にする」ためには「作業の重要性を作業者に認めさせ」こと、それは又「その重要な作業をする作業者は重要な人であると作業者に自覚させる」その結果「主役は作業者自身です」ということを理解させ「自分はその作業についてはベテランである」という自信と誇りを持たせ、何によらず管理者に頼らなくとも自発的に仕事を進めてゆくよう仕向けてゆくようにすることです。又、ZDでは10人程度の小グループをつくらせグループ会議で目標を決めその達成に努力させるわけですが、目標の大枠として全社の方針を打出しておいてそれに協力させるようにしている。

当初私自身でこの運動をすすめるために教科書をつくり、2日程度の合宿によって約20人のトレーナーをつくり、そのトレーナーが何人ものグループリーダーを養成した。昨年の学卒新入生の入社後1ヶ月の感想文の中に「会社に入れば、偉い人が主役だとばかり話ってきたが、自分が主役だと先輩から話されて驚いた。自分も主役になれるよう努力したい。」という意味のことが書かれており、かなり浸透したなあと思

っているが、現実にあられる結果はまだまだ理想には程遠い。

以前は機関車のような力の強い経営者が従業員を引張って行ったものだと思う。今は新幹線のように電車の世の中になった。2〜3軸に1軸モーターのついた車輛が混っていて、そのために列車のスピードはうんと早くなった。ZDを進めることによりモーターのついた車が何台か出来れば、それだけ企業に協力する人も増えるというように期待している。

(石黒会員)

僅か数人の使用人であるが、企業に充分協力させるには仲々大変なことです。

私は毎週木曜日の午後休診して従業員の研修会を開いている。歯科医学の技術指導或は自分達同志の研究発表が主であるが、一般教養とか経済、政治、人生問題などについて話し合っている。

この会合を通じ、従業員と心の接触をはかり、次の私の方針をからませて指導している。

(1) 仕事に魅力を持たせるにはどうするか。

自分が出来ない仕事を出来るように、常に新しい任務を与える。初めは易しいものから、だんだん難しい仕事を与えてゆく。出来ることに喜びをおぼえる。

(2) 仕事に生甲斐を感じさせるにはどうするか。

歯科医業に従事することによる社会への貢献性を認識させる。そのチームの一員たる誇りを荷負う。

(3) 能力をより多く開発するにはどうするか。

歯科技工学校、歯科衛生士学校、歯科助手学校などに全員を入学させ、その卒業者を雇っている。従って一人一人が他がまねの出来ない専門的な任務を持たせている。講習会、研修会には進んで出張参加させる。

(4) 従業員は自由と平等を求めている。これをどのようにリードすべきか迷っている。経済的、政治的、社会的、性的な自由と平等は経営者としての宿題である。

(5) 給与体系には、能力のあるもの、技

術の向上せるもの、よく協力して働くものがそれだけ報いられるよう手当をもうけている。(以上)

◆“職業奉仕委員会の小委員会とその任務について。”

ロータリーの職業奉仕委員会の目的は、云うまでもなく、各クラブ会員が、奉仕の理想を実行に示すことであり、そのうえ、仕事や職業上の仲間と奉仕の理想を分かち合うことを奨励することです。

クラブ会員が多くなりますと、職業奉仕委員会は次の小委員会に分担して、職業の奉仕の理想を強調するようになります。その小委員会は四つあります。各々の最も大切な任務使命を御紹介させていただきますと、

①雇主と従業員関係の小委員会は、

(1)公正と、(2)率直と、(3)奉仕に基づく、(4)双方の円満な関係によって、(5)従業員達が、その生産性、(6)忠実及び、(7)一身上の福祉を増進させるように、(8)クラブ会員の努力を奨励する任務をやることです。

②四つのテスト小委員会は、会員が

(1)その職業と職場において、(2)又は学校、(3)同業組合、(4)市の諸機関や、(5)地域社会のいたるところで、四つのテストを利用するよう推進することの任務をやることです。

③職業情報小委員会は、

(1)職を選ぼうとする青少年達に、(2)会員が各自の職業についての知識をあたえたり、(3)とくに、高い水準の必要性と、(4)各職業における奉仕の機会に重点をおいた情報をあたえ(5)役立てるように、青少年許りでなく、クラブ会員を援助することの任務をやるのです。

④実業および専門職業関係の小委員会は、クラブ内に代表されている、実業および専門職業の分野において、(1)正直と(2)親切の水準を高めることの任務をやるのです。

以上の()印の項目を常に、思い浮んで奉仕すれば、よく奉仕の理想を分かち合うことが出来ましょう。

スピーチ等には要旨で結構ですので、原稿を会報委員会にお渡し下さいます様重ねてお願い致します。御協力下さい。原稿を頂き感謝しております。